

糖尿病治療支援保険の開発

東京海上日動火災保険株式会社(取締役社長 広瀬 伸一、以下「当社」)は、糖尿病患者向けに、新たに「糖尿病治療支援保険(以下、「本商品」)」を開発いたしました。本商品は、糖尿病合併症を発症した際の一時金補償に加えて、日々の健康管理や糖尿病の重症化予防を支援するサービスを提供することが大きな特長です。本商品の展開を通じて、個人の健康増進、企業の健康経営推進に貢献してまいります。

1. 背景

糖尿病患者は年々増加し、今や国民病の一つとも言われています。厚生労働省の2016年の調査によると糖尿病患者は約1千万人、年間の医療費は約1兆2千億円となっています。糖尿病は万が一重症化すると透析治療が必要となったり失明に至る等極めて深刻な状態になるおそれがありますが、自覚症状に乏しく放置されやすい疾患とされています。

従来の医療保険等では、糖尿病を既に患って治療している方はお申込み時の健康状態の告知で加入できない場合もあります。また、医療保険等に加入していた方が糖尿病を患い入院した場合には、日数に応じた入院保険金が支払われるのが一般的ですが、合併症を発症した場合には更なる費用が必要となるケースがあります。

そこで当社は、糖尿病予備群および糖尿病患者の方もご加入いただける^{※1}新たな保険を開発いたしました。本商品を通じて、PHR(パーソナル・ヘルス・レコード)^{※2}を活用した日々の健康管理や糖尿病の重症化予防に資する「”いつも”を支えるサービス」と、重症化して合併症が発生した際の「”いざ”を支える補償」の2つの安心をお届けします。

※1: お申込みには、健康状態等に関する条件があります。

※2: 個人の健康・医療・介護に関する情報のこと

2. 新しい保険商品の概要

(1) 契約方式:

本保険は企業等を契約者とし、その構成員等が任意で加入する団体契約となります(保険料の負担は加入者個人となります)。

(2) 保険期間:

1年間

(3) サービス・補償内容:

保険期間を通じて、以下のような「”いつも”を支えるサービス」と「”いざ”を支える補償」を提供します。

”いつも”を支えるサービス

- 日々の健康管理に向けた、アプリの提供等

糖尿病においては、食事・運動の管理等が重要です。食事等の記録・サポートを行うアプリ^{※3}、運動サポート機能を搭載した糖尿病健康管理 Web アプリ及び糖尿病の専門家である医療職による予防プログラム^{※4}の提供を通じて、重症化予防をサポートします。

- リスクが高まった際の、より強力なサポート

糖尿病の評価基準の一つである HbA1c 値が悪化した(当社が定める条件に該当した)場合、24 時間リアルタイムで血糖値変動が測定できる端末を配布し、医療職による個人の身体の状態に合わせた予防プログラム^{※4}の提供を通じて、重症化予防のより高い効果を狙います。

※3:食事等の記録・サポートを行うアプリは、株式会社リンクアンドコミュニケーションが提供元となります。

※4:医療職による予防プログラムは、株式会社カルナヘルスサポートが提供元となります。

”いざ”を支える補償

- 合併症の場合、一時金で 100 万円

視力障害や腎症等の合併症を発症した場合、保険金 100 万円をお支払いします。

3. 今後について

特定の団体向けに本商品の販売を行い、お客様の声を収集しながら順次販売先の拡大を目指します。本保険の展開を通じて、ヘルスケア分野における社会課題解決により一層取り組んでまいります。

以上